

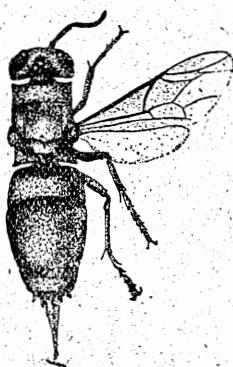
あるを發見せり。該種は學界に未知のものにして、新種を形成する價値あるものと認め、研究の結果茲に發表せり。

本文を草するにあたり、本種の御惠送を受けたる、岡垣新三郎氏の御好意と、常に御親切なる御指導を賜りし内田登一先生に謹んで感謝する次第である。

Chrysis (Pentachrysis) basitacuna n. sp.

クビレイツツバセイボウ (新稱)

♀ 体は綠青色、頭部、前胸背、中胸背側片、中胸側、後胸背、胸下、前伸腹節、第1、第2、腹背
クビレイツツバセイボウの圖



節の後半、第3腹背節の隆起線以下、腹面、脚、觸角柄節、第1鞭節等
は綠青色。觸角基部、第2鞭節以下の各節、顔面窩上縁の一横溝、大腮
面鬚、瓦狀片、各脚の第3跗節以下の各節は黒色。單眼の周邊、頸部、
中胸背中片、後稜狀部（後楯板）の凹所。第2、第3腹背節の基半部は
藍紫色。翅は灰褐色を帶び半透明、脈は黒褐色。頭胸部に暗灰毛、腹部
及び脚に灰白毛を裝ふ。体の全面に粗大なる點刻を密布すればも稍々光
澤あり。胸部の點刻は最も深く且つ大にして、顔面窩、脚にあるものは
淺くして小、腹背部にあるものはその中間なり。頭部は甚だ大きく前胸
背及び中胸背と同幅なり。前胸背の後縁は端直にして、上方より見るときは横に長き方形をなす、又中
胸背、稜狀部と共に少しく圓起す。後稜狀部は大、且つ後方に著しく突出し、上面は淺き溝様に壓せら
れ特に其の基部は深く凹む。前伸腹節の兩後角は稍々三角形に突出し、其の先端は銳る。第1腹背節前
縁中央に深き縦溝あり。腹部第3節は中央にて弱く縫られ、點刻列は大きく、深く、中央にて遮斷さる。
末端に五齒を具へ銳く、その間隔は等し。